



- 1) コンゴ民主共和国保健人材開発支援プロジェクトフェーズ2
- 2) 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
- 3) コンゴ民主共和国保健省 Kongo-Central州保健医務局資源管理部

【はじめに】

コンゴ民主共和国（以下、コンゴ民とする）は、アフリカ中央部に位置し、日本の6倍の国土面積と人口約6,000万人を有する。コンゴ民は、1991年以降10年以上に渡って続いた内戦の結果、国内インフラが破壊され、保健システムが崩壊した。そのため、コンゴ民保健省は、様々な保健情報を消失し、保健行政が機能しない状態に陥った。保健人材に関する情報も消失し、保健人材の無計画な養成と配置、質の低下、都市と地方における偏在が著しい状況となった。このような背景のもと、両国は日本の政府開発援助によって、2014年から4年間の予定で、コンゴ民保健省人材関連部署を主要カウンターパート機関とした保健人材開発支援プロジェクトフェーズ2を開始した。

介入対象州のひとつであるKongo-Central州は、プロジェクトフェーズ1で作成支援した2013年保健人材年鑑によると、保健専門職6,520人、保健事務職2,389人、合計8,909人が公的機関に就業しているとされている。しかしながら、公務員番号を持たず給料が支払われていない事、資格を持たないものが保健専門職として就業している事、縁故での採用がある事等、様々な問題が指摘されていた。この現状を明らかにし、今後の保健人材管理を効果的に実施するための基盤となる保健人材データベースを作成する事を目的に調査したので報告する。

【概要】

調査対象地域であるKongo-Central州は、面積約56,000Km²（北海道約83,000Km²）、人口約483万人を有する。州都Matadi市は、首都Kinshasaから約310Km西方に位置し、陸路約7時間で移動可能な地域である。保健行政区分は31の保健ゾーンに分かれている。

人材データベースの作成手順は、次の通りである。

1. 全31保健ゾーンの情報環境調査を実施のうえ、軍関連の1保健ゾーンを除く、30保健ゾーンを対象にデータベース作成に必要な機材を供与した。（2014年12月15日）
2. 30保健ゾーンの情報官を対象に、コンゴ民保健省が開発したMicrosoft Accessを基礎とした管理ソフトの使用講習会を3日間開催した。（2014年12月）
3. データ収集のためのチームを2チーム（西側チーム、東側チーム）編成し、各保健ゾーンが管轄する地域に属する保健人材を召集し、面談、30項目の情報を収集した。この際、資格証や公務員登録等の書類を確認すると共に個人特定のために顔写真を撮影し登録した。（2015年2月8日～7月16日）
4. 東西2チームのデータをひとつに統合し、データクリーニング、単純集計、分析を行った。（2015年7月17日～9月7日）
5. Kongo-Central州保健人材データベース作成報告書を作成し、関係者と結果を共有する予定である。（2015年11月）

Kongo-Central州31保健ゾーン



現地情報を確認



→ 保健ゾーン事務所に向けて悪路の移動



→ 情報収集（聞き取り、文書確認、写真撮影）



→ データ統合・クリーニング・集計

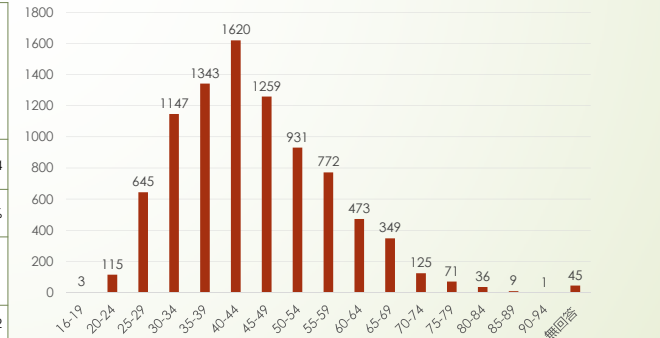
【結果】

Kongo-Central州保健人材データが収集され、以下のような結果が得られた。また、保健専門職として就業しているにもかかわらず保健人材養成校を終了していない職員や終了証を偽造している職員が散見された。更に同じ公務員番号を複数の者が保有している事も明らかとなった。

結果1 職種毎の配置人数

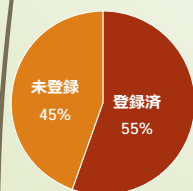
職種	医師	口腔外科医	麻酔医	薬剤師	看護師	助産師	調剤師	理学療法士	栄養士	地域保健専門職	衛生技師	検査技師	放射線技師	上級事務官	事務官	総計
配置人数	516	15	6	18	4991	172	21	33	41	22	20	386	41	208	2454	8,944
割合	6%	0.2%	0.1%	0.2%	56%	2%	0.2%	0.4%	0.5%	0.2%	0.2%	4%	0.5%	2%	27%	100%
WHO推奨配置割合	1/175	1/375	1/1,575	1/575	1/5千	1/5千	1/575	1/5千	1/375	1/575	1/1,575	1/1,575	1/1,575	1/375	1/375	
適正数	385	120	257	77	770	720	73	770	121	77	257	1135	257	128	185	5,332
差異（適正数配置数）	139	-105	-251	-59	4,221	-548	-52	-747	-80	-52	-237	-749	-216	80	2,269	

結果2 職員の年齢分布



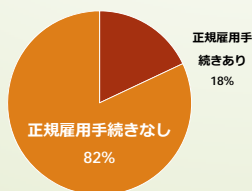
16才から91才までの職員が就業していた。コンゴ民では退職年齢が60才であるが、これに該当する職員は1,064名に上った。

結果3 公務員登録状況



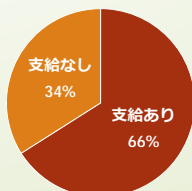
公的機関の正規職員として就業しているにもかかわらず45%の職員が公務員省に登録されていない。

結果4 公務員正規雇用手続きの有無（母数：公務員登録者）



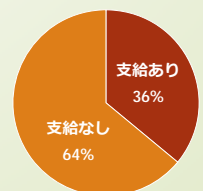
公務員登録が完了している職員のうち82%が正規雇用するための試験や手続きを踏んでいない。

結果5 給与支給状況



公的機関の正規職員として就業しているにもかかわらず、34%の職員に給与が支給されていない。

結果6 危険手当支給状況



公的機関の正規職員として就業しているにもかかわらず、64%の職員に危険手当が支給されていない。

【考察】

保健人材養成校を終了していない者が保健医療サービスを提供している事実から、業務・名称独占を図る必要がある。看護師の過剰配置など保健人材の偏在が明らかである事から、適正配置のための規定整備や定着のためのモチベーション強化を図る必要がある。また、縁故採用等無秩序な職員雇用の現状から、採用基準を遵守するために、罰則を含めた規定整備が必要である。給与支給のない公務員が34%いる事から、公務員省や財務省との調整が急務である。

【まとめ】

Kongo-Central州における保健人材データベースを作成した。保健人材の養成、配置、定着に関する驚愕の事実が明らかになった。今後、これらの課題を解決するための施策の実現が強く期待される。